

の印象では20
ら、鉄道模型
高生が存在し
ろろん、主婦

この女性もい
父の趣味を引
夢中になった
つた。

里の中で、小
極めて詳しい
をしているお
見て驚いた。

が好きな女性
なイメージよ
いのだろう。
み立てだけで

生にも迷惑

都立戸山高
「は厳しい学
「言っていた
と門から閉
を持つ姿勢
クされたと
終業ベルが
くすると生
筆するほど
れ、かつ札
くしつげら
たデニス部
らめた。

ろから意識
が大学受験
り多く勉強
無理して夜

のもある。製作中は小さ
いパーツやネジが飛び散
るといけないのでクシヤ

抄遊交

いつの間に
か年をとり、
長年勤めた美
術館を定年退
職する日がや

ってきた。だが私も反骨
精神旺盛な団塊世代の一
員。「これからは自由気

ままな批評家にな
もなあって、もう一
度ゼロからやり直
そう」と勝手に思
い定め、お世話に
なった方々へ挨拶
してまわることに
した。

美術批評の大御
所、瀬木慎一さん
にお会いすると
「いまどきフリー

の評論家？ 気は確か
か」と、いきなり一喝さ
れた。瞬間湯沸かし器の
異名をとる大先輩の短気
はよく承知しているつも
りだったが、本気で怒っ
ているその目をみて、い
まさながら前途の険し
さを思い知らされた。

じゅん||美術評論家)

く出し続けたい。(いし
ばし・はるお||「鉄道模
型趣味」編集長)

次の横尾忠則さんから
は、意外にも「これから
は好きなことだけをおや
りなさい」と優しく労わ
れる。だが名著「隠居宣

言」の筆者でもある天才
画家のお言葉は、私には
あまりに格好よすぎて、
すぐには呑みこめ
なかつた。

その定年から五
年が経過した今、
当時のことがしき
りと頭をよぎる。
どんなに言葉を節
制してみても、心底
惚れた作品でない
と、美術批評は決
して人の心までに
は届かないもの。

「戦争に勝
じゃない」
「大いぼり」
「初見ちゃ」
「だまれッ」
突然の怒
「第二軍は
「だ、だま
初志郎の
は今しも炎

ななが初
まま、けん
さちちこ



堅くおな

our dreams